



平成24年9月28日

各位

上場会社名 大陽日酸株式会社  
代表者 代表取締役社長 川口 恭史  
(コード番号 4091 東証第一部)  
問合せ先責任者 執行役員広報部長 石川 紀一  
(TEL 03 - 5788 - 8015)

### 特殊材料ガス共同製造事業撤退に伴う特別損失発生のお知らせ

当社は、平成24年9月28日開催の取締役会において、以下の通り、エポニック デグサ ジャパン株式会社（以下EDJ）とのモノシランガス共同製造事業から撤退することとし、それに伴い平成25年3月期第2四半期累計期間に特別損失を計上することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 特別損失の計上について

##### 1) 背景及び経緯

当社は、国内外で液晶パネル、太陽電池、半導体などエレクトロニクス関連市場でのモノシランガスの旺盛な需要拡大見込みに対し、高品質維持、コスト競争力強化、安定供給体制の構築を通じて事業拡大を図る目的で、2009年(平成21年)4月にEDJとのモノシランガス共同製造事業計画に合意、三重県四日市市に共同製造工場を建設し2011年(平成23年)9月より製品出荷を開始しました。

この間、2008年(平成20年)秋の米国金融危機以降、世界的な景気の低迷を背景にエレクトロニクス関連市場での需要全般の冷え込みが続き、東日本大震災による電力供給懸念、歴史的な円高の影響などが相俟って、日本国内市場では需要拡大が見込まれた薄膜シリコン太陽電池、液晶パネルの製造が大幅に落ち込み、モノシランガスの製造・販売量も当初の計画を大幅に下回る状況となりました。

一方、製造原価・経費の削減、中国を含むアジア市場での販売の拡大に全力で取り組んでまいりましたが、グローバル市場での需要低迷、供給能力過剰による市場価格の大幅な下落など市況悪化が更に進み、モノシランガス製造・販売事業の当面の収益改善の見込みは立たず、今般、共同製造事業から撤退することといたしました。

##### 2) 特別損失の概要

当社は、平成24年9月30日付にて共同製造事業契約を解約し、同事業から撤退することでEDJと合意しましたので、これに伴い、以下の特別損失を平成25年3月期第2四半期累計期間に計上いたします。

|                              |          |
|------------------------------|----------|
| A) 共同事業契約の早期解約に伴う解約金         | 約 198 億円 |
| B) 合弁会社（精製・品質保証を担う）の解散に伴う損失他 | 約 35 億円  |
| 合計                           | 約 233 億円 |

## 2. 役員報酬の減額について

当社は、本件の特別損失計上が業績に著しい影響を及ぼすことに鑑み、本日公表の新経営体制に基づき、以下の通り、役員報酬を一部減額することといたします。

### 1) 減額内容

|                          |          |
|--------------------------|----------|
| 代表取締役会長及び代表取締役社長         | 役員報酬の20% |
| 代表取締役副社長及び専務取締役          | 役員報酬の15% |
| 取締役相談役、取締役副会長、常務取締役及び取締役 | 役員報酬の10% |

### 2) 減額期間 平成24年10月より1年間

## 3. 業績予想の修正について

当該特別損失は、本日公表の「連結業績予想の修正及び個別業績予想に関するお知らせ」における今回発表予想の業績数値に反映されております。

## 4. 平成25年3月期の配当について

本年5月9日に公表いたしました平成25年3月期の配当予想（中間、期末各6円）については変更ありません。

以 上